



先端企業への脱皮

令和6年6月5日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

グローバル化において世界の先端企業が有する製品とシステムは、企業が自己の企業製品構築へその基準を受け入れ、市場への参加を求めることは可能なのである。

これは有能な人材は現実を可能とするのである。これらは社会における意識や理解を飛躍させ、企業製品と企業環境を有することで、企業が時代性という飛躍を行うことはできるのである。

これらは時代性における企業の転換なのである。これらは社内における経営と理解基準を飛躍させ、世界における先端性にこれらを有することで、それら現実を求めることができるのである。

これらが時代という可能性への挑戦と参加なのである。時代はその独創性ととも新しい可能性を与えているのである。

これらはアメリカのビジネストレンドへの正しい理解なのである。優秀な人材がこれらの能力とともに、ビジネスフィールドへの参加を求めているのである。

自由経済システムは、無限の自由とともにこれらを許容し、新しい未来という今日の世界の創造を与えたのである。

これらは自らの独創性と創造性において与えられた現実であり、これらは必ずその基盤における高い理解や知識を要求するのである。

これらが完全に既存現実を崩壊させたことは真実なのである。またそれらは今日における絶対的な自己プレゼンスを有することにおいてそれらを否定することは不可能なのである。

これらは経営と企業運営基準の転換においてこれらを行うことは可能なのである。これらは新しい創造型企業への転換なのである。

また時代はその要求を有し、これらは決して誤りにならないのである。